

マイナンバー制度が始まります。

今まで、木更津市は、住民基本台帳カード(略して住基カード)の利用促進をすすめてきました。

★「住基カード」を持っている人は、どのくらいいるのでしょうか。

全国で H25.4 月～H26.3 月の全国交付枚数 約89万枚

⇒ H26.3.31 現在 累計交付枚数 約834万枚 (有効交付枚数 約666万枚)

※仮に、666万枚を全人口約1億2,837万人

(H25.3.31 住基人口)で割ると約 5.2% つまり、100人いたら5人が持っている

住基カードをもっている人が、サービス利用申請書を提出すれば、コンビニの「マルチコピー機」や出張所(公民館内)の「証明書自動交付機」で

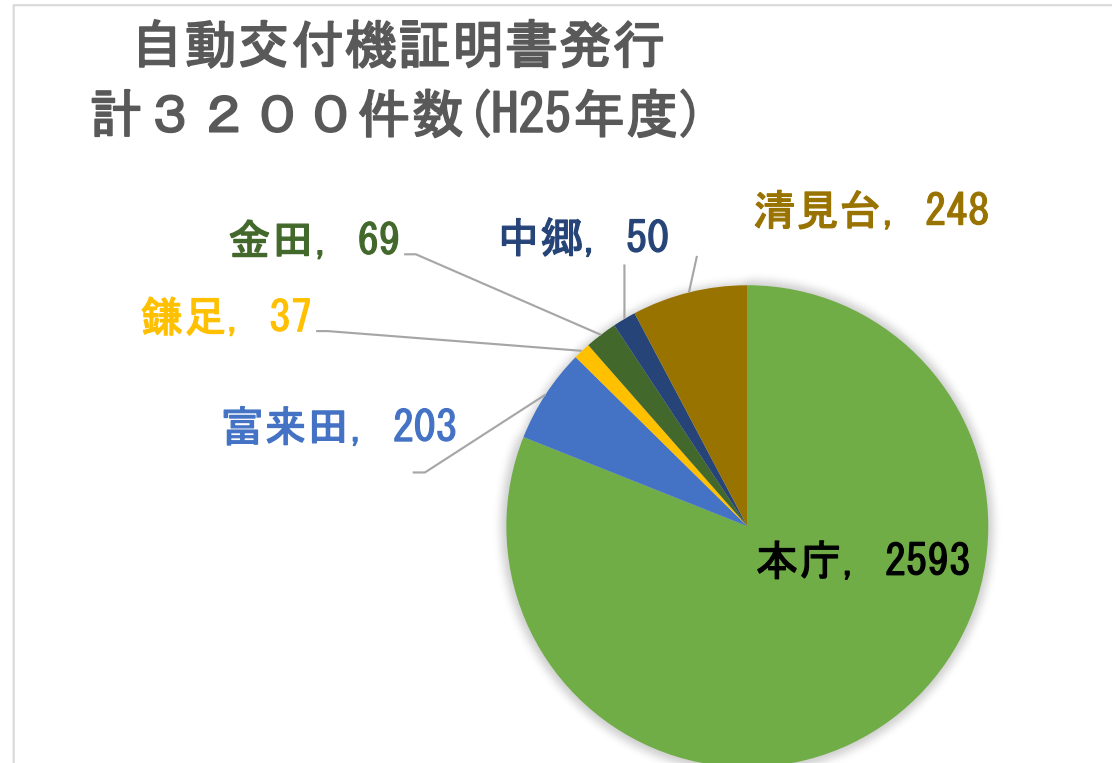
・住民票の写し ・印鑑登録証明書 ・戸籍全部(個人)事項証明書 ・戸籍の附票 ・所得や税額証明書の交付を受けることができました。

★木更津市が、コンビニの「マルチコピー機」や

出張所(公民館内)の「証明書自動交付機」にかけた金額は？

H25年度	自動交付機	コンビニで交付	計(円)
手数料		331,440	331,440
委託料	13,047,280	12,523,120	25,570,400
使用料および賃借料	14,001,120	6,360,48	20,361,600
負担金	1,500,000	1,500,000	3,000,000
計	28,548,400	20,715,040	49,263,440

★木更津市の「証明書自動交付機」の利用状況は？



★H25年度、自動交付機で発行した1件あたりの経費は？

計 28,548,400 円、3200件を交付。1件あたり8921円です。

なんと高額。

★全国で、コンビニ交付をできるように設備投資した市町村は？

全 100 市区町村(平成 27 年 7 月 23 日現在)だけです。

コンビニ交付をしている市町村は、こんなに少なかったのです。

★H25 年度、コンビニ交付した 1 件あたりの経費は？

計 20,715,040 円、2780 件を交付。1 件あたり 7451 円。

これも高額。

★コンビニ交付や出張所の「証明書自動交付機」を合わせると、

計 49,263,440 円。5980 件を交付。1 件あたり 8238 円です。

議会でも常に、コンビニ交付をすすめることに、
反対の意見を言い続けてきました。
さて、マイナンバー制度がはじまります。
3月議会で、H27年度予算審査委員会で、予算書を見ると、
マイナンバー制度の経費があちこちバラバラにありました。

★マイナンバー制度の経費がバラバラって、どういうこと？

市民課・市民税課・資産税課・収税対策室・情報政策課・保険年金課・障害福祉課・
高齢者福祉課・社会福祉課・子育て支援課・健康管理課・建築住宅課
これらの課で、システム整備費、システム改修費、手当支給事務費、運用事業費
などを行うために経費がかかります。

★さて、マイナンバー制度は、国がすすめるシステムです。

国から補助があるもの、ないもの、いろいろでした。結果は？

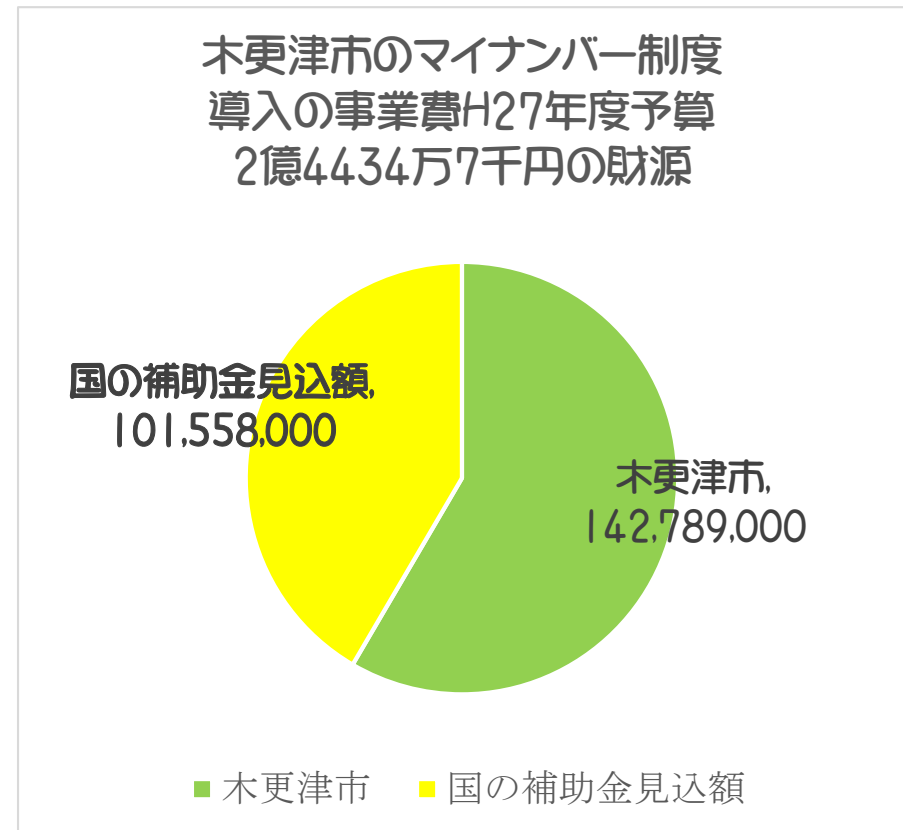
(単位:千円)

	事業費	国の補助金見込額
総務省の補助金を使って	88,645	26,204
	45,667	45,667
厚生労働省の補助金を使って	71,254	24,221
	10,000	3,200
	4,500	2,266
木更津市のお金を使って	24,281	0
総合計	244,347	101,558

国は、人口規模により、補助対象基準額を定めているので見込み額

★マイナンバー制度がはじまります。木更津市の負担は？

マイナンバー制度をはじめめるのに、木更津市での事業費 2 億 4434 万 7 千円に対して、国は補助金を出しますが、全額ではありません。41.6%だけです。足りない部分は、木更津市のお財布から出さなくてはなりません。それは、58.4%にもなります。



★マイナンバー制度も、便利にすればするほど、経費がかかる構造です。